

本校は、甲府市の最も東に位置し、周囲を特産のぶどう畑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。校章にも、本校のシンボルとしてぶどうがデザインされています。

甲運小学校は、明治6年（1873年）に山梨県第11番学校「川田学校」として川田町寿徳院を仮校舎として創立され、今年で152周年となる歴史と伝統のある学校です。令和4年度に、創立150周年を迎え、記念誌の編集、ぶどうっこゲートの建築、記念式典・記念講演等を実行委員会の皆様の綿密な計画・運営のもと執り行うことができ、地域の皆様とともに甲運小学校150周年を祝うことができました。

本校は、この節目を機に、新たな時代にふさわしい教育を創造し、常に進化を続ける学校として、未来を担う人材を育成し、地域と共に歩みながら、更なる発展を目指していきます。

令和6年度は63名の新入児童を迎え、全校16学級286名（4月1日現在）の児童でスタートしました。

平成22年に新校舎が建築され、幅の広い廊下や各階に設けられた多目的スペースなど、ゆとりのある広々とした校舎です。校舎の南には、昭和44年の中央線複線化に伴う通学路の立体交差化工事の残土で造られた「ぶどうっこ山」があり、様々な樹木が植えられています。子どもたちの格好の遊び場、自然とふれ合う場になっていて、休み時間など子どもたちの元気な声が響いています。

学校教育目標は、『子どもたちが来たくなる学校』です。めざす児童像を児童にも分かる表現（かしこく、やさしく、たくましく）として、児童自身が自己評価できるようにするなどの工夫をし、学校教育目標の具現化を図っています。まず、自分の学級への所属感が大切であり、クラスにいると心が落ち着く、クラスの中に自分の居場所があることが重要であると考えています。この基盤があってこそ、様々な授業での学びが確かなものになることに繋がっていくと考えます。学級の親和的・協働的な雰囲気を担当の先生と子どもたちで力を合わせて、創り上げていってほしいと願っています。

昨年度からコミュニティ・スクールの活動が始まりました。5月に第1回学校運営協議会を開催し、学校経営方針への承認をいただき、今後のコミュニティ・スクールとしての活動方針の確認を行っていく予定です。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への歩みを着実に進めていきたいと思えます。

今日の学校教育は、家庭・地域からの信頼と連携なくして成果を期待することはできません。今後何かとご協力いただくことが多いと存じますが、ご支援のほどよろしくお願いたします。

校長 山岸 正人